

各位

上場会社名 住友ベークライト株式会社
代表者 代表取締役社長 林 茂
(コード番号 4203)
問合せ先責任者 経理企画本部副本部長 寺島 郁朗
(TEL 03-5462-3452)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	93,500	5,500	6,000	3,500	14.53
今回発表予想(B)	97,900	6,200	7,000	3,650	15.15
増減額(B-A)	4,400	700	1,000	150	
増減率(%)	4.7	12.7	16.7	4.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	78,922	160	570	△2,193	△9.10

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	1,000	1,300	400	1.66
今回発表予想(B)	53,500	2,100	2,800	1,480	6.14
増減額(B-A)	3,500	1,100	1,500	1,080	
増減率(%)	7.0	110.0	115.4	270.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	48,065	△486	△155	△1,622	△6.73

修正の理由

第2四半期累計期間の当社を取り巻くグローバルな経営環境は、半導体については、デジタル家電やパソコンの増加など市場全体の復調に加えて、スマートフォンやタブレット型端末などの需要も加わり、また自動車は、前期から各国がおこなった景気刺激策に支えられたことや、中国などの新興国の需要が増加したことで回復が進みました。このような中、第2四半期累計期間の連結決算は、当社主力の半導体関連材料や高機能プラスチック製品の売上げが順調に増加し、一昨年来実施してきた身の丈経営の徹底による固定費抑制効果がフルに寄与し利益も拡大いたしました。また、フレキシブル・プリント回路事業は秋田からベトナムへの生産拠点の移転に続き、研究開発拠点の統合・再配置を進めており収益改善の途上にあります。クオリティオブライフ関連製品において、医療機器やフィルム・シート製品の販売が堅調に推移したことや、関係会社の統廃合やコストダウンなどによりプレート・デコラ事業の採算が向上したため、前回予想を上回る見込みとなりました。

個別決算においても同じく半導体関連材料や高機能プラスチック製品を中心に売上げを伸ばし、さらに固定費の削減や子会社からの受取配当金の増加などにより業績が改善したため、連結決算とともに業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

なお、平成23年3月期通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想につきましては、平成22年11月4日に予定している第2四半期決算発表時に公表する予定です。

※上記予想は作成時点において当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績は事業環境など様々な要因によりこれらの予想と異なる可能性があります。